

東田小学校学校運営協議会令和5年（2023年）度

2023年（令和5年）7月1日（土） 会長挨拶 23-RO-2

日本に観光で来る外国人は日本の町、都会、地方、どこでも清掃が行き届いて清潔で綺麗であることに感銘を受けます。日本から外国への観光旅行で、欧米の町がかならずしもきれいで清掃されていないことで落胆することが有りました。このようなわゆる公衆道徳がいかに行き届いているかについて考えてみました。

小学校の初等教育は人間生活の基礎の構築作業となります。日本企業が特に製造業の海外進出展開する場合、工場設営と運営において従業員をいかに受け入れ教育を行い、工場運営をいかにするか苦労してきました。特に中国での事例では4S, 5Sの教育スローガンがあります。これらは日本では初等教育で実行されている事柄です。

4Sとは【整理】、【整頓】、【清潔】、【清掃】：5Sとは4Sに【躰】を付加します。

【整理】とは理にかなった最良の状態に整えること。安全の条件

【整頓】とは秩序正しく整然と整えること。美しさが伴う。

【清潔】とは汚れを除去しそうがすがしい状態にすること 手洗い勵行による保健衛生

【清掃】とはごみ、ほこりを除去し美しくすること 掃除

4Sは今はやりの＜断捨離＞そのものです。

【躰】 整列乗車、静粛に人の話を聞く、自発的に4Sを実行すること。

このようなことは日本では初等教育の小学校で日常的に教育されている事柄です。

問題は以上のような行動が自発的に行われているかが重要で、強制であってはならないわけです。基本的な日常的な習慣、道徳が日本では今回のコロナ禍においての感染防止に大いに役に立っていることが証明されております。

日本での公衆道徳慣行が初等教育で基礎固めが行われてきたことを再認識してみる必要があります。このような倫理観は日本人のみならず、日本列島に居住する外国の人々含めて共有すべきものとして実行されております。これこそ誇るべき文化かもしれません。

以上 小原理一郎